

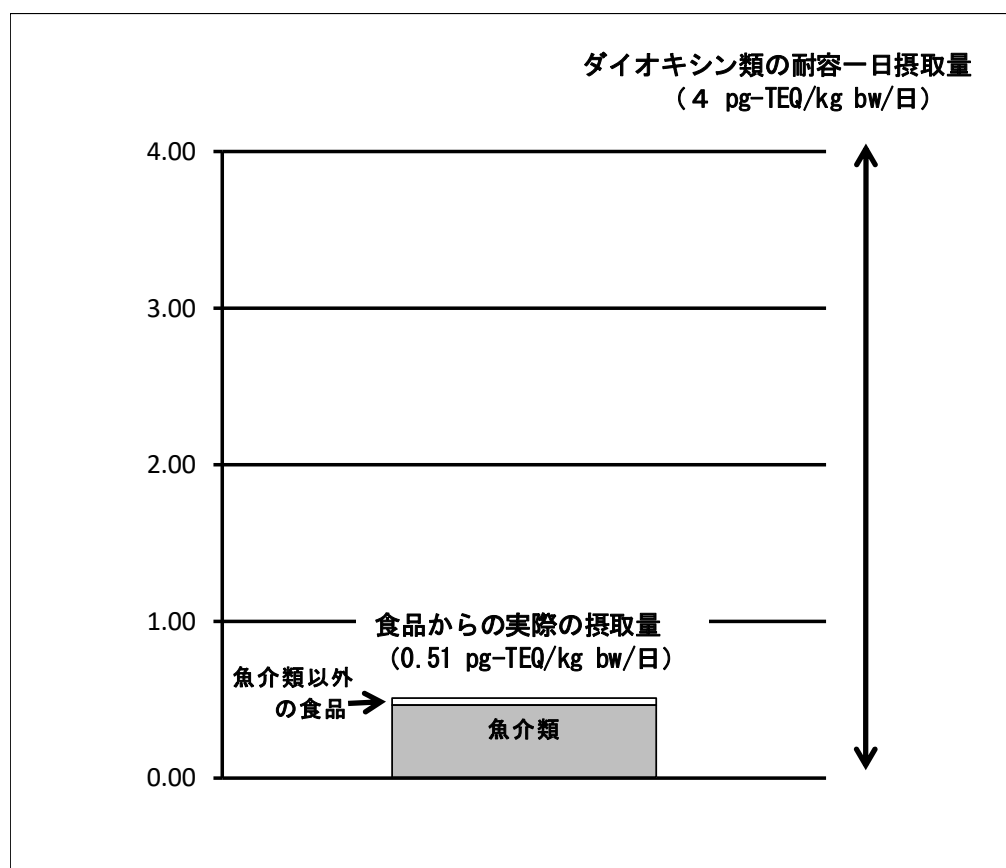
平成 30 年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査等の調査結果

本資料は、厚生労働省公表資料「平成 30 年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査等の調査結果について」（令和元年 12 月）をもとに、農林水産省で作成しました。

厚生労働省による平成 30 年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査において、日本人の一般的な食生活で取り込まれるダイオキシン類の量は、平均 0.51 pg-TEQ/kg bw/日と推定され、平成 10 年度の調査以降、経年的に下降傾向にあります。そのうち、魚介類は 0.46 pg-TEQ/kg bw/日、畜産物は 0.04 pg-TEQ/kg bw/日であり、これらの食品群で全体のおよそ 98%を占めます。

本調査で推定された摂取量は、耐受一日摂取量（TDI）である 4 pg-TEQ/kg bw/日を下回っており、「一部の食品を過度に摂取するのではなく、バランスのとれた食生活が重要である」と報告されています。

食品からのダイオキシン類摂取量と耐受一日摂取量の比較



注) 食品以外（大気、土壌等）からの摂取量については、環境省の「ダイオキシン類の蓄積・ばく露状況及び臭素系ダイオキシン類の調査結果について」をご参照ください。